

2023 年第 8 号
(2023.9.)

需要回復後の海外旅行市場を展望

『JTB 海外旅行レポート 2023 日本市場における海外旅行のすべて』を発刊

- ・2022 年における海外旅行者数は 277 万人、需要回復に遅れ
- ・旅行費用の高騰が旅行者の意思決定に影響を与える
- ・旅行経験値の高い層のマインド回復が鍵



2023 年

JTB Corp.
JTB Tourism Research & Consulting Co.

株式会社 JTB(東京都品川区、代表取締役 社長執行役員 山北栄二郎)は、2022 年の日本人海外旅行マーケットの実態と需要回復局面における海外旅行市場の展望をまとめた「JTB 海外旅行レポート 2023 日本市場における海外旅行のすべて」を発行しました。1988 年以来、今年で 36 回目の発行となるこのレポートは、独自のアンケート調査や各関係機関の統計資料に基づき、株式会社 JTB 総合研究所(東京都品川区、代表取締役 社長執行役員 風間欣人)が海外旅行マーケットの動向、構造を分析し、編集・発行しており、9 月 29 日(金)より販売を開始いたします。

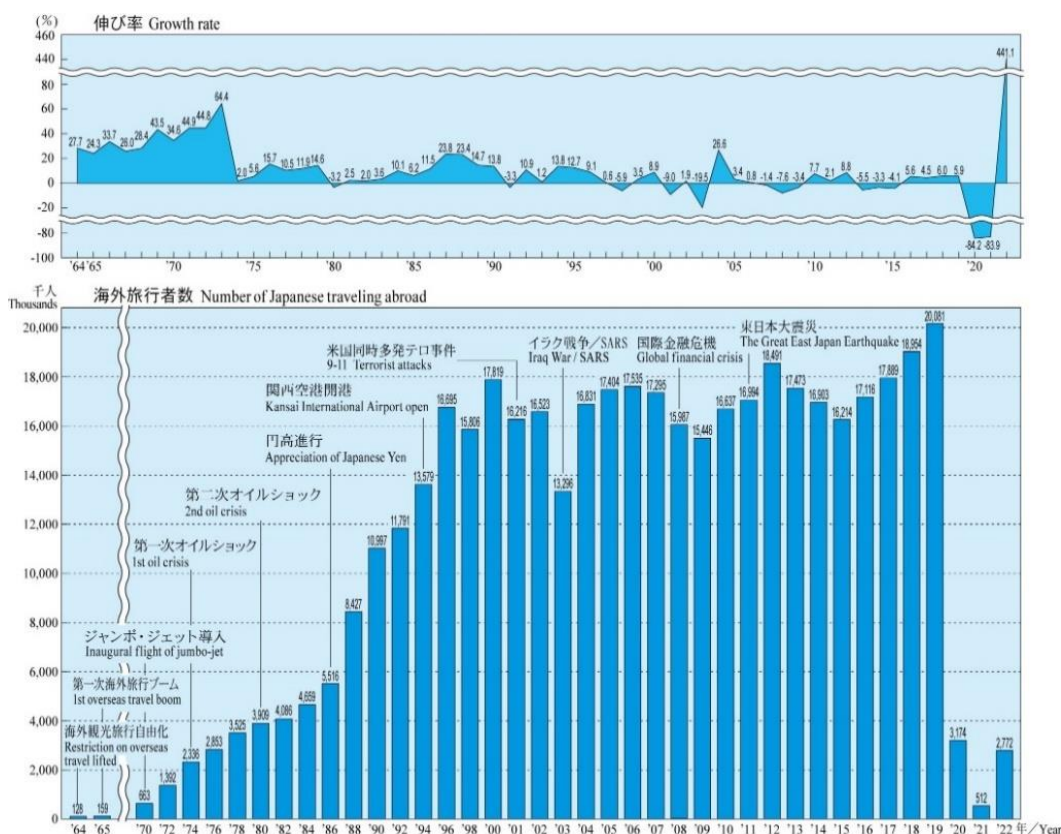
2022 年の海外旅行マーケットは、各国・地域の新型コロナウイルス感染症に関する水際対策の緩和を背景に、緩やかな回復の兆しがみられました。そのような時流をふまえ、本レポートではコロナ禍で実施を見送っていた「海外旅行実態調査」及び「海外旅行志向調査」を再開し、需要回復局面における日本人の海外旅行の動向を取りまとめています。

今回のレポートのポイントは次の通りです。

1. 2022 年における海外旅行者数は 277 万人、需要回復に遅れ

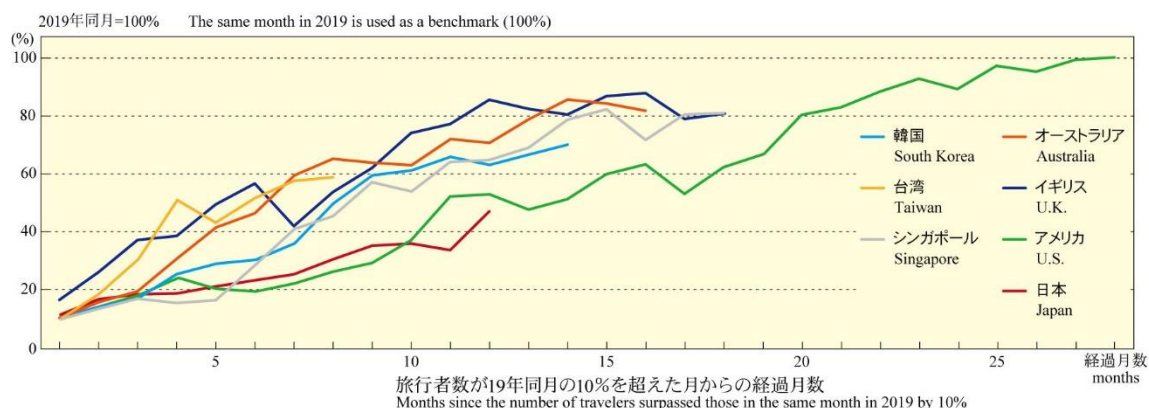
2022 年における年間海外旅行者数は 277 万人となり、新型コロナウイルス感染症に関する水際対策が最も厳しかった 2021 年と比較すると、大幅に増加しました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大前、海外旅行者数が初めて 2,000 万人を突破した 2019 年比では 13.8% となり、本格的な需要回復には至らなかったといえます。また、各国・地域の海外旅行者数の回復状況を比較するために、2019 年同月から 10% を超えた月を 1 カ月目とした経過月数を基に試算しました。その結果、日本発の海外旅行マーケットは、各国・地域に比べ、相対的に後れを取っている様子がみられました。

【海外旅行者数とその伸び率の推移】



資料：法務省「出入国管理統計」

【各国・地域のアウトバウンド旅行者数の回復状況】



資料:各国・地域の統計局等のデータをもとに(株)JTB 総合研究所が作成

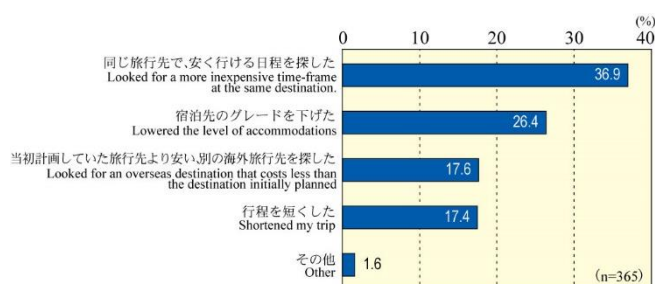
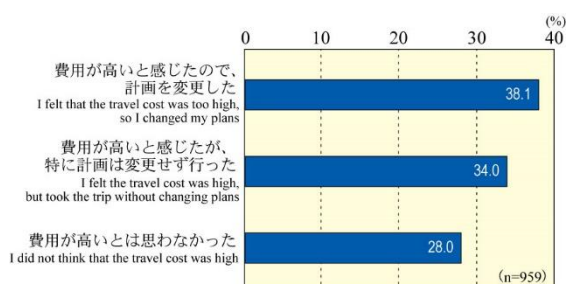
注:2019 年同月比の旅行者数が 10%を超えた月以降の推移をグラフ化したもの

横軸の 1 か月目に相当する月は、米国 20 年 9 月、イギリス 21 年 7 月、シンガポール 21 年 11 月、オーストラリア 22 年 1 月、韓国 22 年 4 月、日本 22 年 6 月、台湾 22 年 10 月

2. 旅行費用の高騰が旅行者の意思決定に影響を与える

当社の独自アンケート結果から、2022 年に海外旅行に出かけた人の平均旅行費用は、2019 年以前から大幅に増額となっており、円安や海外旅行先の物価の上昇が旅行需要へ与えた影響は大きいと考えられます。2022 年に海外旅行に出かけた人のうち、約 4 割の旅行者は旅行費用の高騰により当初の計画を変更しており、実際に旅行者の意思決定にも影響を与えていることが分かります。さらに、具体的な変更内容をみると、日程変更や宿泊先のグレードダウンなどの工夫を凝らすことで、行きたい旅行先を優先したいという意向がうかがえます。旅行費用の高騰という逆境のもとで、旅行者意識がどのように変わっていくのか、今後も注視が必要です。

【旅行選択時にとった行動と具体的な変更内容】



資料:(株)JTB 総合研究所「海外旅行実態調査」(2023 年 3 月実施)

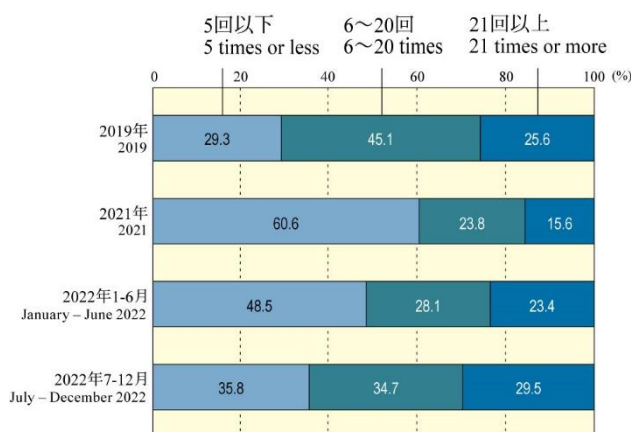
注:データクリーニングによるサンプルカットを実施している。

3. 旅行経験値の高い層のマインド回復が鍵

かつて、アメリカ同時多発テロ(9.11)や、SARS などのクライシスの影響を受けた海外旅行マーケットにおいては、海外旅行慣れした経験値の高い旅行者から渡航を再開する傾向がみられていました。この傾向はコロナ禍以降にも当てはまるようです。独自アンケートの結果から、2021 年および 2022 年の前半と後半における旅行者の海外旅行経験を比較すると、水際対策が緩和され、需要回復の兆しがみられた 2022 年以降は、徐々に経験値の高い旅行者の割合が上昇していることが分かります。2019 年時点の海外旅行経験別にみた旅行意欲と比較すると、具体的な旅行計画までは立てていないものの、「予定はないがぜひ行きたい」人の割合が増加している傾向がみられており、今後のさらなる需要回復が期待されます。

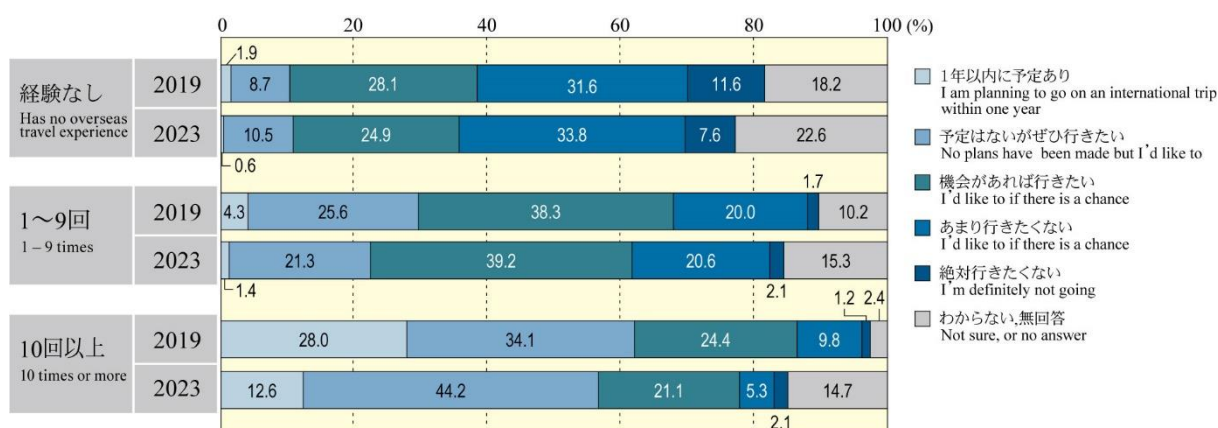
また、今後海外旅行に「絶対行きたくない」「あまり行きたくない」人の割合は、2019 年と比較して増えているわけではなく、人々の旅行意欲そのものが大きく低下しているわけではないことが分かります。今後のさらなる需要回復にあたっては、コロナ禍を経た旅行者の価値観の変化をとらえ、渡航を後押しするためのトリガーを把握することが重要なポイントとなりそうです。

【旅行者の海外旅行経験回数別構成比の推移】



資料: (株)JTB 総合研究所「海外旅行実態調査」(2023 年 3 月実施)

【海外旅行経験別にみた旅行意欲】



資料: (株)JTB 総合研究所「海外旅行志向調査」(2023 年 1 月実施)

【本レポートは、以下のリンクよりご購入いただけます】

日本語サイト :<https://www.tourism.jp/store/item/whitepapers/JTB-outbound-report-2023/>

英語サイト :<https://www.tourism.jp/en/tourism-database/publications/JTB-outbound-report-2023/>

『JTB 海外旅行レポート 2023 日本市場における海外旅行のすべて』

監修 株式会社 JTB

編集・発行・販売 株式会社 JTB 総合研究所

〒140-0002 東京都品川区東品川 2 丁目 3-14

東京フロントテラス 7 階

TEL: 03-6260-1200 / FAX: 03-6260-1210

定価 13,200 円（本体 12,000 円）

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

JTB 総合研究所 03-6260-1200(pr@tourism.jp)

JTB 広報室 03-5796-5833(東京) 06-6260-5108(大阪)

<書籍販売に関するお問い合わせ先>

JTB 総合研究所 コーポレート共創部 03-6260-1220